

ChatGPTのOpenAI、独自のAI半導体開発を検討と報道

2023/10/6 15:26 | 日本経済新聞 電子版



オープンAIはAIに使うハードの開発強化を模索している=ロイター

【シリコンバレー=渡辺直樹】対話型AI（人工知能）「Chat（チャット）GPT」を手掛ける米新興企業オープンAIが独自の半導体開発を検討していることが5日、明らかになった。ロイター通信が報じた。AIを動かすのに使う中核部品を内製化することで、AIサービスの性能向上や、コスト低減につなげる狙いがあるとみられる。

ロイターによると、オープンAIは半導体の不足を背景に自社開発に向けて、半導体関連企業の買収や既存のメーカーとの提携など複数の計画を検討しているという。オープンAIはコメント要請に応じなかった。

チャットGPTなどの生成AIは、データセンターのサーバーを使って開発・運用している。AIが膨大なデータを学習する過程や、利用者からの質問に回答する推論には頭脳となる大量の半導体が必要となる。

中でもAIの処理に適した画像処理半導体（GPU）は、米エヌビディアが約8割のシェアを握り、「1強」の様相を呈している。チャットGPTは約1万個のGPUを使っているとされるが、供給元も少なく、生成AIブームを背景に近年は特に調達が難しくなっている。

米巨大テクノロジー企業では、米Googleが自社でAI半導体を開発し運用を始めているほか、米[アマゾン・ドット・コム](#)もクラウド事業に自社半導体を活用する。初期開発の負担は大きいですが、半導体を内製化することで中長期的に自社サービスに最適化し、コストを低減できる利点がある。

各社は独自の半導体開発に力を入れる	
Google	AIに使う独自半導体の搭載で先行
アマゾン	クラウド事業で自社半導体を活用
メタ	コンテンツの推薦などに使うAI半導体を開発
アップル	機械学習処理を速めた自社半導体をスマホに搭載
マイクロソフト	AI半導体開発でAMDと協業と報道
オープンAI	買収活用し独自半導体開発を検討と報道

半導体メーカーではエヌビディアのライバルとなる[アドバンスト・マイクロ・デバイス](#)（AMD）も導入コストを安くするAI半導体の新製品を発表した。米[インテル](#)もパソコン上で効率的にAIを動かす新製品を開発した。AIをめぐり今後サービスを手掛けるテック企業と半導体企業の連携が進む可能性が高い。

【関連記事】

- [ChatGPTのOpenAI、元インスタ技術者設立の新興を買収](#)
- [OpenAIが元Apple幹部と端末新会社、孫氏参画 FT報道](#)
- [「AI半導体」NVIDIA、時価総額1兆ドルが示す新産業図](#)
- [NVIDIA純利益9倍、AI用半導体で一人勝ち 供給に不安も](#)

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.